

行政評価委員会開催結果報告書

平成24年6月21日

会議の名称	平成24年度第4回石狩市行政評価委員会
開催日時	平成24年6月7日(金)13時30分～15時25分
開催場所	石狩市役所2階 201会議室
出席委員	松井委員長 長谷部副委員長 堀内委員 堀委員 岩崎委員 (計 5名)
欠席委員	(計 0名)
説明員職氏名	市長政策室 小鷹室長 秘書広報課 丸山課長、大西主査 協働推進・市民の声を聴く課：林課長、清水主査 (計 5名)
傍聴者	(計 1名)
議題等	1 議題(部局ヒアリング及び評価意見の検討) (1)施策「情報公開と情報共有の推進」について 2 その他(次回の日程確認等)
結果	議題の施策について、担当部局を交えて事前確認事項の補足質疑、意見交換(担当部局ヒアリング)を行った後、評価意見のまとめに向けた委員協議を行った。協議内容については事務局が整理し、次回委員会の検討用資料とする (次回開催日程) 第5回 平成24年6月13日(水)13:30～ 於：庁議室
事務局職員	企画経済部 加藤部長、松田企画課長、佐々木主査、青木主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開会（13：30）

2 議事

（担当部局ヒアリング）

(1) 施策「情報公開と情報共有の推進」について

【施策の概要説明等】小鷹政策室長

（説明資料：施策評価シート、事業評価シート及び事前確認事項回答票）

【質疑応答、意見交換】（ は委員発言要旨、・は担当部局及び事務局発言要旨）

成果指標 1 の「行政情報が十分に提供されていると思う市民の割合」は上がっているが、指標 2 の「市政の透明度が高いと感じる市民の割合」が下がっている。指標 2 を上げるためには、他の方法も必要なのではないか

・ホームページの他、ツイッターの活用や、スマートフォンに対応するなど、発信の方法を考えながら、結果的に透明度もあがっていけばと考えている。

指標 1 が上がれば、2 も上がっていくものだと思うけれど、そうっていないのが疑問。

情報発信は既に色々な方法で行われていると思う。受け手がどうとらえるかの問題であり、確認の仕方がアンケート以外であれば、結果も違ってくるのではないか。

指標 1、指標 2 ともにトレンド推計ということか。

・前期戦略計画の指標は、平成 17 年を基準として、それ以前の数値が無かったので、目標値を上下の矢印で表示したが、今回（後期）は、過去 5 年間の実績値のトレンドを踏まえて、極力数値化した。

市政の透明性が不十分と感じている人が、なぜそう思っているのかをピックアップして対処していかないと、毎年同じことの繰り返しになるのではないか。足りない部分を確認して、どう対応していくかを考えた方がよいのではないか。

広報等手段による制限はあるが、情報は、一回のみの提供ではなく、さまざまな形で何度も発信した方が効果的である。

広報紙配布の活動指標については、全戸配布が達成できているのならば、比率の測定方法が正しくない。適正な修正を掛けるべき（2 世帯住宅等で配布不要とされている世帯分を分母（全世帯数）から削除すべき）である。

OSS の導入はコストの低さでは注目されていると思うが、問題点はどこを考えているのか？

・導入は無料だが、今のホームページからの移行費用がかかる（数百万円）。保守費用もかかるので、導入に向けて検討はするが、検討課題が多々ある。メリットとしては、ソースコードが公開されているので、利便性などが向上する点。デメリットとしては、責任の所在が不明確な点である。

ふれあいタウンミーティングについては、今までもパワーポイントを使用したり、寸劇風にするなど、わかりやすい工夫をしてきている。参加者実績が目標に比べて低いのは、曜日や時間などの開催時期が問題ではないように感じる。

事業評価シート 36-4 の記録撮影事業については、業務上の必要性は理解するが、活動指標の設定には無理があるのではないか。評価する必要があるのかが疑問である。

市長室開放において出た意見はその場で回答するのか。

・課題によって、直接担当課が対応した方が早いと判断した場合は、後日（原則 7 日以内）担当課から回答する。

広報紙配布について、以前は町内会に依頼していたが、コストはどうなっているのか。

- ・平成 15 年度は 1 戸あたり 440 円/年 × 17,500 戸 = 770 万円

町内会に依頼していた時は、町内会に加入していない人には配られなかったので、全戸配布できるようになった事は良くなった点ではないか。

広報は市民が自分たちのために必要なものなので、コストを考えた時に、市民の側に配布手段を戻すという方法もあるのではないか。

他市では、広報等を若い人にも読んでもらえるよう、大学近くのコンビニに置いたりもしている。石狩に通勤・通学している人にも石狩に関わってもらうためには、こうした工夫も必要ではないか。

配布を委託している業者には、配布先の情報を渡しているのか

- ・渡していない。一軒毎に配布なので、表札が二つあれば 2 冊配布など

ふれあいタウンミーティングは、それ以外の方法でも情報を得る機会がたくさんあるから参加者が減少しているということはないのか。

出前講座の利用状況は

- ・平成 22 年度の事業評価シートの実績では、平成 22 年度 29 回、平成 21 年度 24 件、平成 20 年度 39 回。

出前講座の利用は思ったより少ない。出前講座があるからタウンミーティングの参加者が減っているわけではなさそう。

3 その他

(1) 次回日程確認

- ・次回、第 7 回委員会から第 9 回委員会までの開催日程について、次のとおり確認。

第 7 回 7 月 4 日（水） 13：30 ～（庁議室）

第 8 回 7 月 11 日（水） 9：30 ～（庁議室）

第 9 回 7 月 19 日（木） 9：30 ～（庁議室）

予備日 7 月 30 日（月） 13：30 ～（庁議室）

4 閉会（15：25）

平成 24 年 6 月 26 日 議事録確定

石狩市行政評価委員会 委員長 松井 義孝